Rotary
Rotary International District 2800
2017～2018
TAKAHATA ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

ロータリー：
変化をもたらす

会長 山村 義美　幹事 庄司 薫　例会 毎週木曜日 12：30～13：30 旅館 エビスヤ
http://takahata-rc.net　事務局 山形県高畠町大字高畠911-2/2F tel 0238-52-5440・fax 0238-52-5444

本日の例会 ［2422 th］ 2018. 2. 1

移動例会
いっぱりうどん例会
高砂屋珈琲店

前回の例会 ［2421 th］ 2018. 1. 25

ゲストスピーチ
（一社）高畠青年会議所
理事長 **西 方 茂 太 氏**

- 点鐘12時30分　山村義美会長
- 県民歌　最上川
- ロータリーソング　奉仕の理想
- ソングリーダー　木村健彦君
- S A A　若林智次君

会長あいさつ

山村 義美 会長

みなさんこんにちは、大変な大雪の中ご出席を頂きましてありがとうございます。大寒に入りまして東京でも大雪になり、私事ではありますが息子の会社は３時に退社、娘の会社では５時に強制的に退社させられたと連絡がありました。10㎝～20㎝ぐらいの雪でTVで大騒ぎしており、考えられないと思ったのは私だけではないと思います。いかに雪国の生活が大変か、国ももっと考えて欲しいものです。

職業が車屋なので雪道の運転は、急発進・急ブレーキ・急ハンドルは避けて安全運転をお願い致します。ワイパーも必ず切ってからエンジンを止めて下さい。故障が大変多くなっています。

本日のゲストスピーカーをご紹介致します。一般社団法人 高畠青年会議所 第40代理事長 西方茂太さんそして専務理事 佐藤友和さんです。40周年記念事業を控えて大変な事と思いますが頑張ってください。

高畠ロータリークラブには、10周年の理事長 長谷川春海君、20周年の小平和弘君、30周年の島崎裕司君が入会されています。広い意味でよろしくお願い致します。

昨日は、山形銀行高畠支店 高山会の新年会がありました。長谷川会長の挨拶を聞いていて、さすがいい話だと思い参考にさせて頂きたいと思います。

スマイルBOX

会員誕生
土屋 衛 君・井田 裕子 君

・未来のロータリアン二人が本日のゲストスピーカーとしてお越しいただきました。お二人に感謝。
山村 義美 君

・高山会の新年会で会長挨拶を致しました。
長谷川平内 君

・次男からの誕生日プレゼントで天童温泉に行ってきました。
土屋 衛 君

《会長の時間》

高畠町議会議員であり、(社福)高畠仏教昭和会なかよし保育園に勤務されている 相田日出夫 氏より入会申し込みがありました。ご異議のある方は２月１日までに、文書にてお申し出ください。

なき場合は、２月８日の創立記念祝賀会より入会と致します。

《出席報告》

会員数 47名　出席者数 19名　出席率 40.43 %
前回修正　出席者数 28名　出席率 59.57 %

《メークアップ》

井田 裕子 君・土屋 衛 君・木村 健彦 君
梅津陽一郎 君・島崎 裕司 君

次回の例会 ［2423 th］ 2018. 2. 8

第 51 回
創立記念祝賀会
寿司 いこい

ゲストスピーチ

（一社）高畠青年会議所
理事長 **西 方 茂 太 氏**

高畠青年会議所は今年で40周年の節目の年を迎えます。40年という長きにわたり運動を展開してきた先輩諸兄の行動に敬意と感謝を表します。

本年2018年は「For The Future」のスローガンのもと19名でJC活動・運動を展開していきます。一時は解散の議論が交わされるに至るまで会員の減少がすすみました。しかし、35周年を契機に徐々に会員を拡大し、JC全盛期の大きな事業とまでは至りませんが、一歩ずつ歩みを進めることができる事業を行っております。

今回の講演では、35周年から39年までの事業にふれ、どのように歩みを進めてきたかを振り返っていきます。また、現在の会員状況、組織、会員の卒業年度などにふれ、40年からの先の未来のために、今後どのような活動や運動が必要になってくるのか私の考えを話したいと思います。

各個人の自己成長の団体であるとともに、明るい豊かな社会の実現に向けて、地域を発展させていくために、今後も期待されるJCの魅力を伝えていきたいと思います。

「まほろば語り部の会」 高畠の民話 前号続き！

ぼたん姫・・やっと恵まれたぼたんの様な美しい姫のあまりにも短い一生…泉岡の明神山に子育て明神として今でも安産の神として人々が読んでいるお話

昔、一本柳の館に浜田大善忠利と言う、優しくて、皆から親のように慕われている殿様いやったけど。何なもんだが、四十歳になっても子宝に恵まれず、毎日奥方と「赤子欲しいもんだ」と語っていだっけど。

ある時奥方が、誰に聞いたか「亀岡の文殊様は霊験あらたかだからお願いしてみっぺ」と言い、殿様と身体を清めて食を断ち、お忍びで七日七夜のお籠りにはいったけど。七日目の朝方とろっとまどろんだ時、紫の雲さ乗った文殊様が出てござって、手に持ったぼたんの花で殿様の顔を撫でたと。ハッと目を覚ました殿様は隣の奥方に夢の話を教えだど。すると、奥方も同じ夢見ていだんだど。

それから間もなくして、めんごい女の子授かったけど。ぼたんの花で顔を撫でられて生まれた子だからぼたん姫と名付けて大切に育てだど。
とても綺麗でぼたんの花に負けね程めんごい姫だったど。年頃になると、屋代の殿様と二井宿の志田の殿様から嫁に欲しいと言われだっけど。姫一人に二カ所から望まれては戦など起こされると大変だと思い、文殊様から頂いた命だからと文殊様にお伺い立でたら「東の方さ行け」と指をさされたもんで、二井宿さ嫁入りしたけど。

幸せに暮らしていたけどな、子供が生まれるようになり実家の一本柳にお産に帰る事になったけど。昔は道など無く、山裾を歩いだものだっけど。丁度、泉岡の明神山の所で急に産気づいて、男の子をもうけたが、肥立ちが悪く帰らぬ人となってしまったど。人々はこれを哀れみ祠を建てその霊を弔うようになり以後、子安明神と称され安産を願う人が訪れるようになったんだど。

その時の男の子が、安然大師だと言い伝えられているんだど。　　とうびんと

皆々様の毎日の御苦労に感謝し、今後もいろいろと語りついでいきたいと思います。
本日は誠にありがとうございました。